

『フェリーニのアマルコルド』 原題 <i>Amarcord</i> 1974 年		執筆：清水 純子
制作国	イタリア、フランス	
スタッフ&キャスト (監督、脚本家、俳優、その他)	<p>スタッフ：監督 フェデリコ・フェリーニ/ 製作： フランコ・クリスタルデイ/ 脚本 フェデリコ・フェリーニ、トニーノ・グエッラ/ 撮影 ジュゼッペ・ロトゥンノ/ 美術：ダニーロ・ドナーティ/ 衣装 ダニーロ・ドナーティ/ 音楽 ニーノ・ロータ /</p> <p>キャスト： ブルーノ・ザニン： チッタ / プペラ・マッジオ： チッタの母 / アルマンド・ブランチャ : チッタの父/ マガリ・ノエル： グラディスカ/ チッチョ： イングラシア/</p>	
画像		
カラー・モノクロ	カラー	
時間	124 分	
ストーリー	<p>1930 年代北イタリアのフェリーニの故郷での少年時代の忘れられない（アマルコルド）な一年間の思い出を牧歌的にコミカルに綴る。町一番の美女グラディスカは、30 歳を超えて彼女の「ゲーリー・クーパー」氏を募集中である。思春期の少年チッタは、映画館の暗闇で憧れのグラディスカの手を握ることに成功し、また雑貨屋の大女に誘惑される。チッタの母は、労働者の父と反対を押し切って駆け落ち結婚する。両親のいさかいは絶えないが、仲良しの大家族である。反ファシストの父は、密告されてファシスト本部に捕らえられ、拷問される。色情狂の叔父は、精神病院行きになる。そんな中で、働き者の母が病に倒れ、他界する。美女グラディスカは、お似合いの美男を得て、町中の祝福を受けて結婚する。</p>	
時代設定	1930 年代	
場所	北イタリアの小さな港町リミニ	
社会背景	<p>1930 年代イタリアはムッソリーニが率いるファシズムが台頭し、民衆に対して支持を強制する。従わない者はファシスト本部に連行され、拷問された。</p>	
文化的背景	<p>ファシズムを掲げ、共産主義を打倒する不穏な政治情勢にもかかわらず、人々は日々の労働に疲れると祭りを楽しみ、自然に親しんでいた。大家族主</p>	

	義で、親族が寄り集まって暮らす。しつけは厳しいが、開放的な庶民の暮らしぶり、カトリック教会と密着した民衆の生活。
使用言語	イタリア語
テーマ	題名の「アマルコルド」(監督フェリーニの故郷の北部イタリアのリミニ地方の古い言葉で「私は覚えている」という意味)が示す通り、フェリーニが思春期を過ごした1930年代イタリアの忘れられない一年間をコメディ・タッチで綴る。
みどころ	幻想的でおおらかなユーモアにあふれたフェリーニ・タッチ、フェリーニの少年時代のノスタルジックでユーモラスな回想、地母神的女性への憧憬、ファシズムの吹き荒れる1930年代のイタリア、北イタリアの美しいのどかな風景。
印象深いせりふ	(英語版) I REMEMBER/ The puffballs!/ "When the puffballs come,/ then winter is almost gone."/ "When the puffballs soar,/ then winter is no more."/ I've got the best one!/ - Ciccio, Iet's go to the seashore./ - Look at this one!/ In our town, the puffballs/ arrive hand in hand with spring./ These are the sort of puffballs/ that drift around,/ soaring over the cemetery,/ where all rest in peace,/ soaring over the beachfront/ and the Germans, newly arrived,/ who don't feel the cold./ Drifting, drifting.../ swirling.../ swirling... swirling.../ Drifting, drifting, drifting!/ I'm the last of fourteen children./ By then my father had had enough, so he called me Definitivo./ If he'd had enough sooner,/ there'd have been one less chatterer.
授業教材用 メリット	1930年代のイタリアの田舎町の風景、生活習慣、政治的状況がよくわかる。厳しい生活の中でユーモア、愛、反骨精神を失わない民衆の活力が伝わる。
授業教材用 デメリット	日本では絶版になったVHS版のみ販売(DVD未発売)、日本版VHSの言語はイタリア語のみ収録(欧米版DVDの言語は、イタリア語と英語収録)。
映像入手元	VHS: ワーナー・ホーム・ビデオ
原作の有無	無
支持反応	Rotten Tomatoes 評価(批評家 90、観客 91)
キーワード	北イタリア、港町、美女、映画館、ゲーリー・クーパー、ムッソリーニ、反ファシズム、拷問、色情狂、精神病院、豪華客船。

Copyright © Junko Shimizu All Rights Reserved.

★本サイトに掲載される情報の著作権は、清水純子に帰属します。

許可なく複製、改変、アップロード、掲示、送信、頒布、販売、出版等を禁止します。